

作成年月日	令和2年3月16日
作成部局課室名	企画県民部広聴課

第4回県民モニターアンケート「防災に対する意識と取り組み」の調査結果

第4回県民モニターアンケート調査「防災に対する意識と取り組み」の調査結果をとりまとめました。

アンケート結果は、防災・減災対策の推進や防災力強化県民運動の展開に活用します。

1 調査概要

- (1) 調査対象者：県民モニター2,423人
- (2) 調査期間：令和2年1月7日(火)
～1月21日(火)[15日間]
- (3) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (4) 回答者数：1,826人(回答率75.4%)

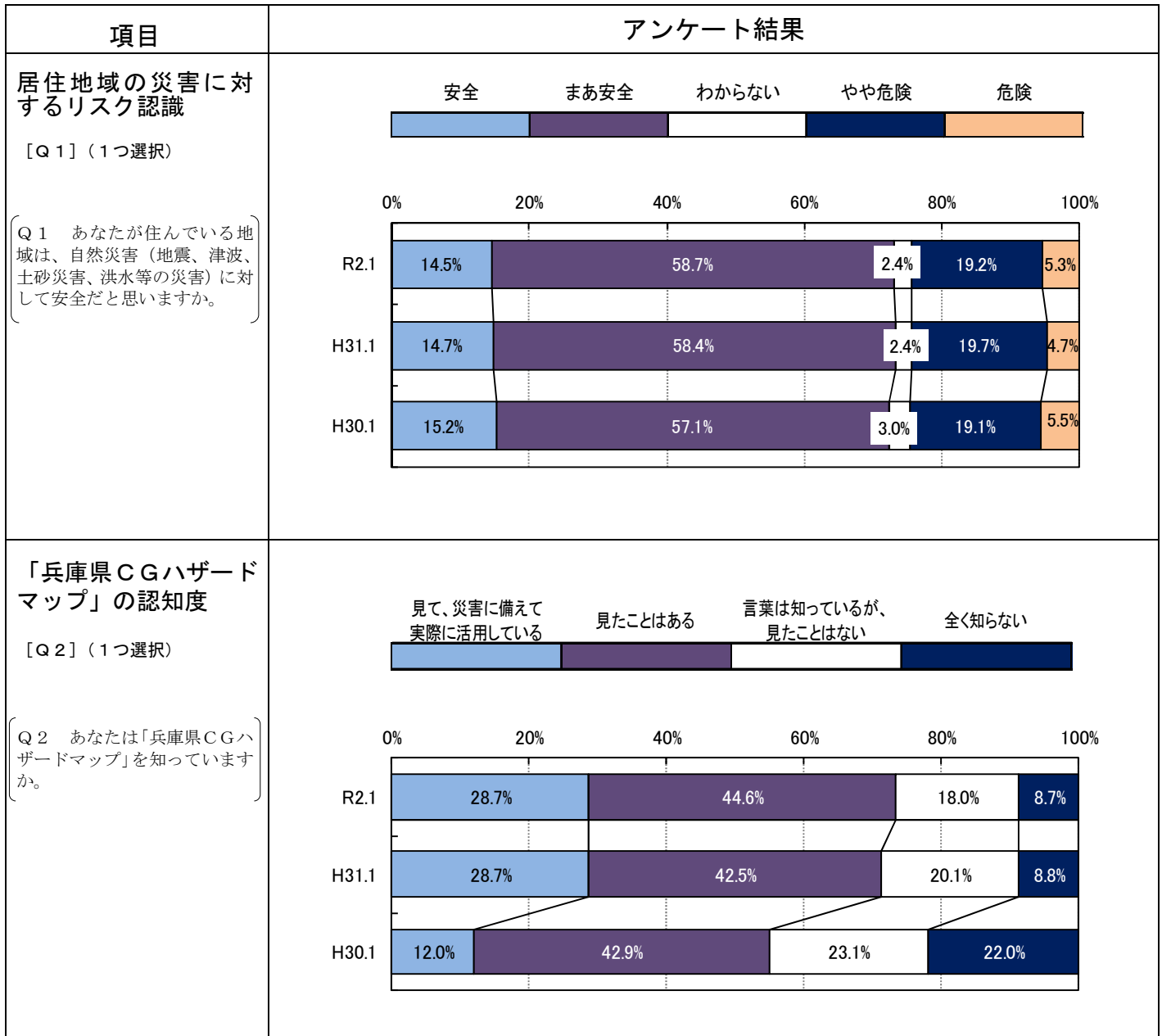
<参考—対象者及び回答者属性>

		対象者	回答者	回答率
総数		2,423	1,826	75.4%
性別	男性	1,131	893	79.0%
	女性	1,292	933	72.2%
年代別	10～20代	116	65	56.0%
	30代	282	174	61.7%
	40代	483	337	69.8%
	50代	501	394	78.6%
	60代	499	415	83.2%
	70代以上	542	441	81.4%

2 調査結果の概要

項目	結果概要
居住地域の災害に対するリスク認識 [Q1]	住んでいる地域が、自然災害に対して「安全(14.5%)」だと思ふ人と「まあ安全(58.7%)」だと思ふ人は、合わせて73.2%となった。
防災情報の入手方法 [Q3]	「テレビ(74.4%)」が最も多く、次いで「Yahoo等のポータルサイト(46.8%)」、「ひょうご防災ネット(38.7%)」が多い。
避難情報の発令状況と発令時の行動 [Q4、Q5]	この1年以内に住んでいる地域に避難情報が「発令された」のは16.2%で前回より18.6ポイント減少した。 「発令された」と答えた人のうち、「避難行動をとった」のは35.6%、「避難行動をとらなかった」のは64.4%となった。
ひょうご防災ネットスマートフォンアプリ等の認知度 [Q6、Q7]	ひょうご防災ネットのスマートフォンアプリを「知っており、ダウンロードしている」人は14.8%であり、このうち「マイ避難カードを作成している」人は14.1%となった。
望ましい避難情報提供手段 [Q10]	「テレビ(61.2%)」が最も多く、次いで「緊急速報メール[エリアメール](59.7%)」、「インターネット[ホームページ](53.3%)」が続いている。
災害への備え [Q12]	災害への備えとして「飲料水や食料品の備蓄」をしている人は74.4%、「家具等の固定」をしている人は46.4%、「携帯トイレ又は凝固剤の備蓄」をしている人は32.0%であった。
防災訓練への参加(最近1年以内) [Q14]	この1年間に自治会や県等が主催する防災訓練に『参加した』人は40.1%、「参加したことがない。でも機会があれば参加したい」人は46.1%となった。
県が力を入れるべき防災対策 [Q19]	「上下水道、道路等の耐震化や、緊急輸送道路などの整備促進(53.7%)」が最も多く、次いで「避難行動や避難生活に配慮を要する方への支援対策(41.5%)」、「不特定多数の方が利用する建築物の耐震化(41.2%)」が続いている。
阪神・淡路大震災の経験・教訓を後世につなぐ行動 [Q21、Q22]	阪神・淡路大震災を経験した人のうち、その経験・教訓を後世につないでいくための行動をしたことがある人は34.2%となった。 また、阪神・淡路大震災を経験していない人のうち、その経験・教訓を学んだことがある人は66.6%となった。

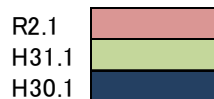
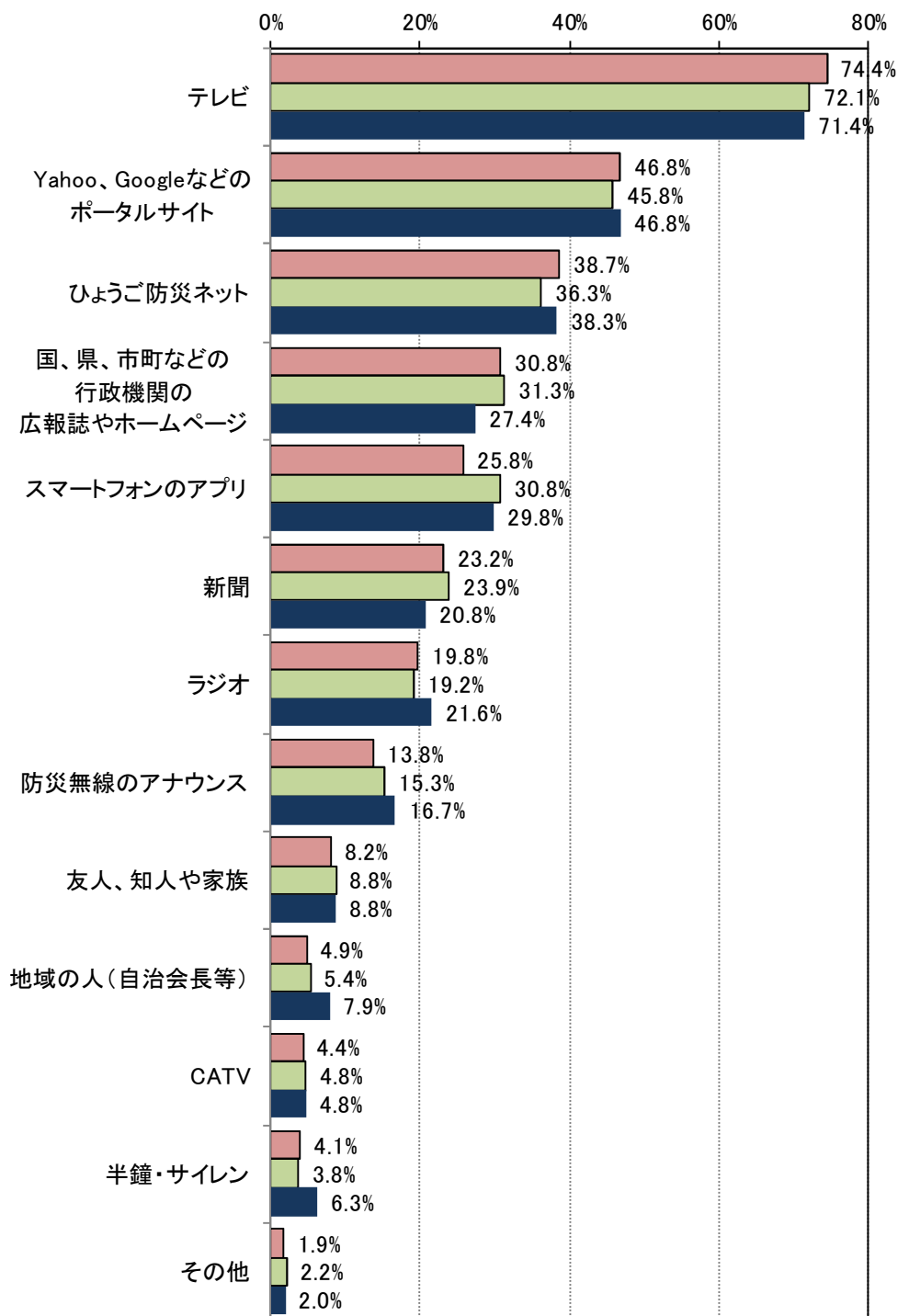
3 調査結果



防災情報の入手方法

[Q3] (いくつでも選択)

Q3 あなたは、気象情報やハザードマップなどの防災に関する情報を平常時や台風の接近など危険が近づきつつある時にどちらから入手されていますか。



<p>避難情報の発令状況</p> <p>[Q4] (1つ選択)</p> <p>〔Q4 あなたが住んでいる地域に、この1年以内に市町から災害時の避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示（緊急）」）が発令されましたか。〕</p>	<p>発令されたかどうか知らない 13.4% (10.8%)</p> <p>発令された 16.2% (34.8%)</p> <p>発令されなかった 70.5% (54.4%)</p> <p>※()内は H31.1 の数値</p>
<p>避難情報発令時の行動</p> <p>[Q5] (1つ選択)</p> <p>※ [Q4] で、「発令された」と回答した人 (295 名) に質問。</p> <p>〔Q5 前問で、「発令された」と回答された方にお伺いします。災害時の避難情報が発令された際に避難行動をとりましたか。〕</p>	<p>避難行動をとった 35.6% (22.5%)</p> <p>避難行動をとらなかった 64.4% (77.5%)</p> <p>※()内は H31.1 の数値</p> <p>【参考】</p> <p>[避難行動をとった人の、避難行動の内容(105 人)のうち、主なもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な部屋への避難（屋内安全確保）(63 人) ・避難所や親戚の家などへの避難 (10 人) <p>[避難行動をとらなかった理由(190 人)のうち、主なもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難するより自宅にいる方が安全だと思った (89 人) ・危険を感じなかった (49 人)
<p>ひょうご防災ネットスマートフォンアプリの認知度</p> <p>[Q6] (1つ選択)</p> <p>(新規)</p> <p>〔Q6 兵庫県では、令和元年5月に「ひょうご防災ネット」に新しくスマートフォン向けのアプリの機能を追加しました。あなたは「ひょうご防災ネット スマートフォンアプリ」を知っていますか。〕</p>	<p>知らない 49.1%</p> <p>知っており、ダウンロードしている 14.8%</p> <p>知っているが、ダウンロードしていない 26.9%</p> <p>知っているが、スマートフォンを持っておらずダウンロードできない 9.1%</p>

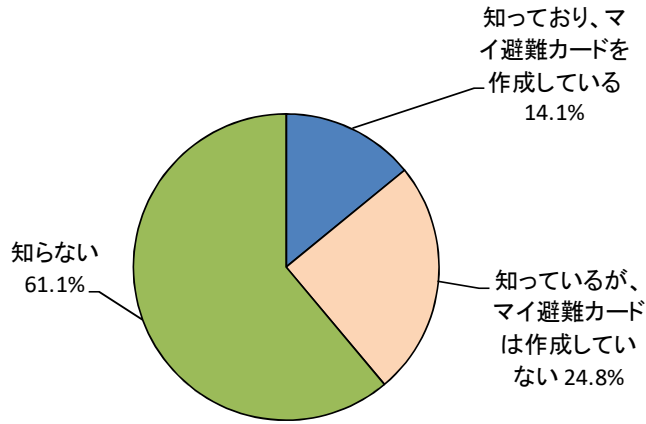
ひょうご防災ネット
スマートフォンアプリの「マイ避難カード」
の認知度

[Q7] (1つ選択)

(新規)

※ [Q6]で、「知っており、ダウンロードしている」と回答した人(270名)に質問。

Q7 あなたはアプリ内で作成できるマイ避難カードを知っていますか。



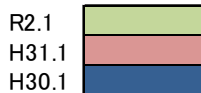
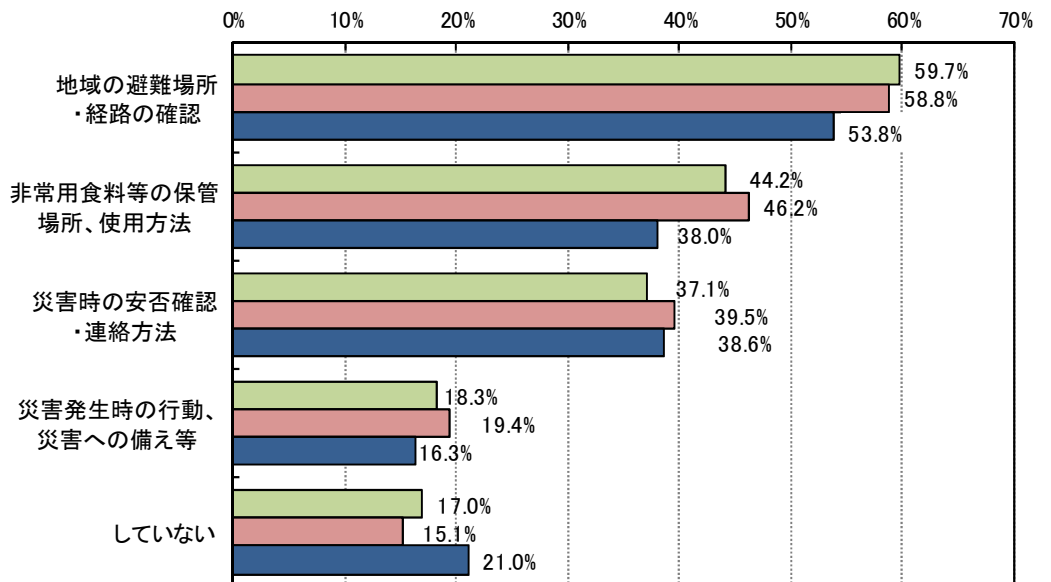
【参考】

- [知っているが、マイ避難カードは作成していない(91人) 主な理由]
- ・自宅が安全で避難の必要がなく、カードの必要性を感じない(20人)
 - ・面倒、時間がない(19人)
 - ・操作が難しい、わからない(13人)

災害に備えた家族での話合い

[Q8] (いくつでも選択)

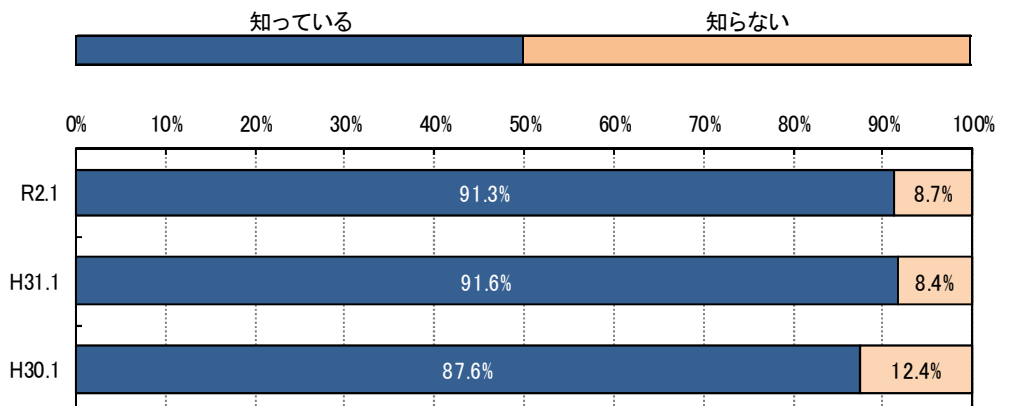
Q8 あなたの家では、災害に備え、普段からどのようなことについて、家族で話し合いをしていますか。



避難場所の認知度

[Q9] (1つ選択)

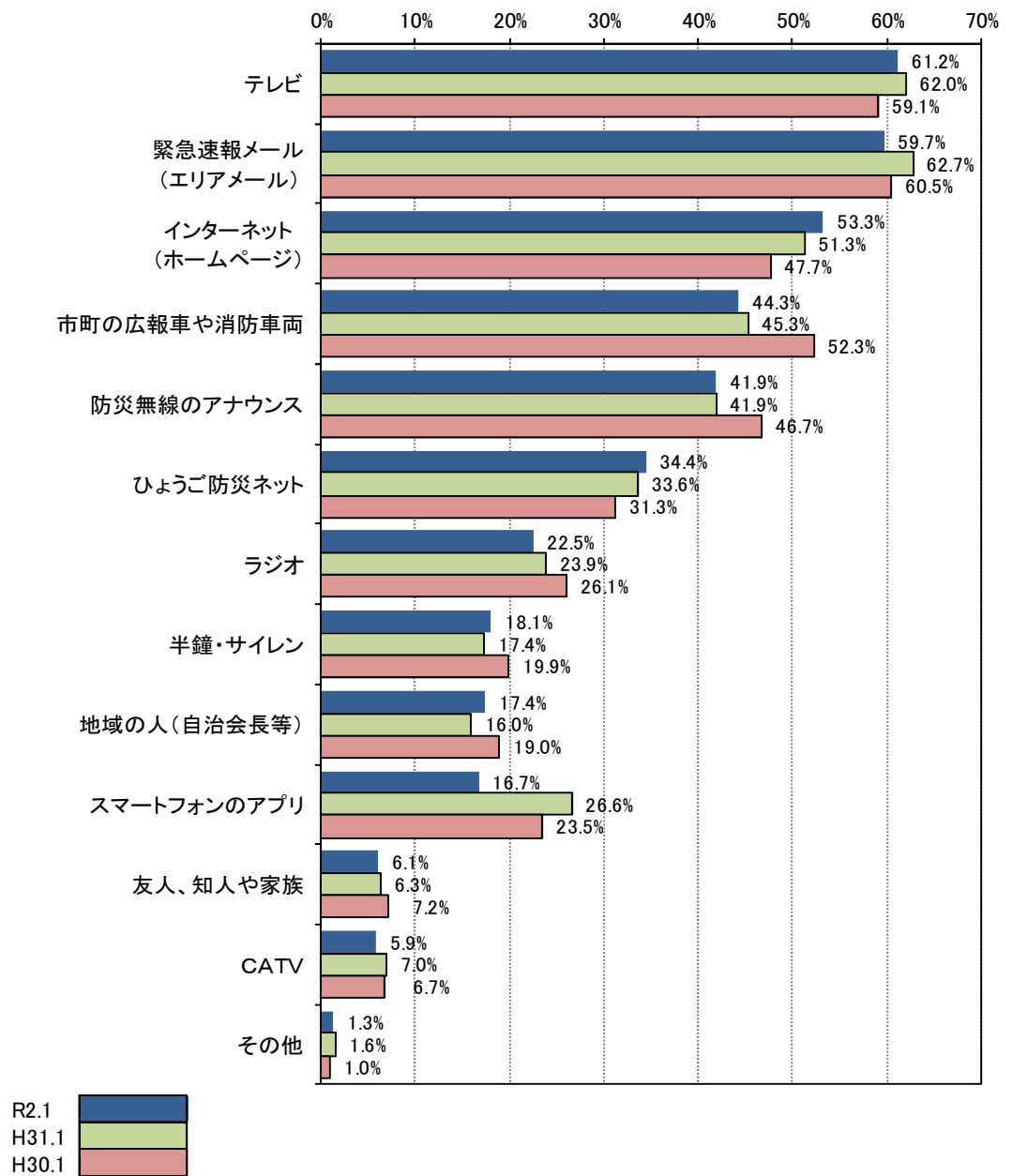
Q9 お住まいの地区で指定された避難場所を知っていますか。



望ましい避難情報提供手段

[Q10] (いくつでも選択)

Q10 あなたは、災害時の避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示（緊急）」）について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。あてはまるものをお選びください。

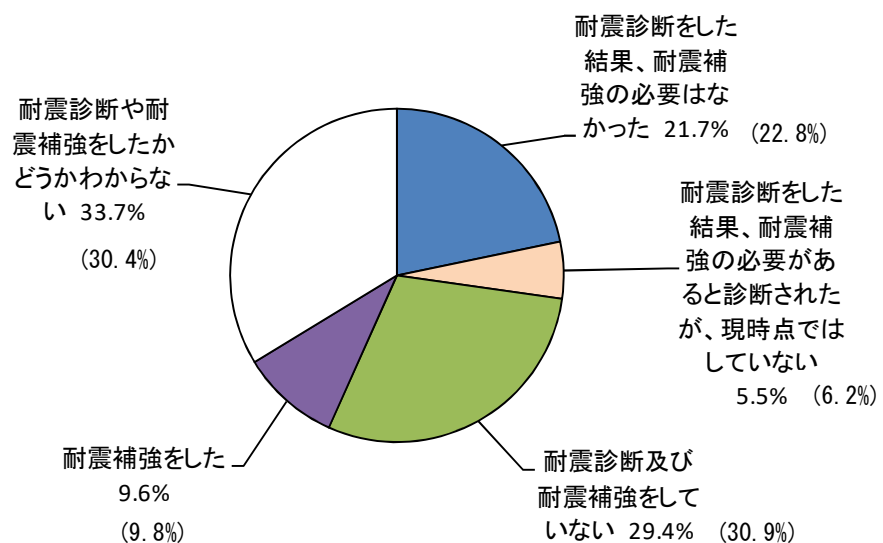


耐震診断・耐震補強の実施状況

[Q11] (1つ選択)

※住んでいる戸建て住宅・マンション等（木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅にかかわらず。賃貸除く）が、昭和56年以前に建築された人（635人）が回答。

Q11 あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。



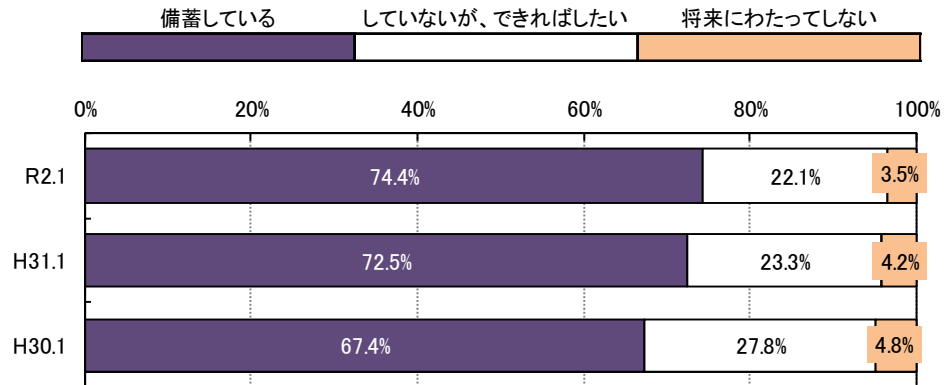
※ ()内はH31.1の数値

災害への備え

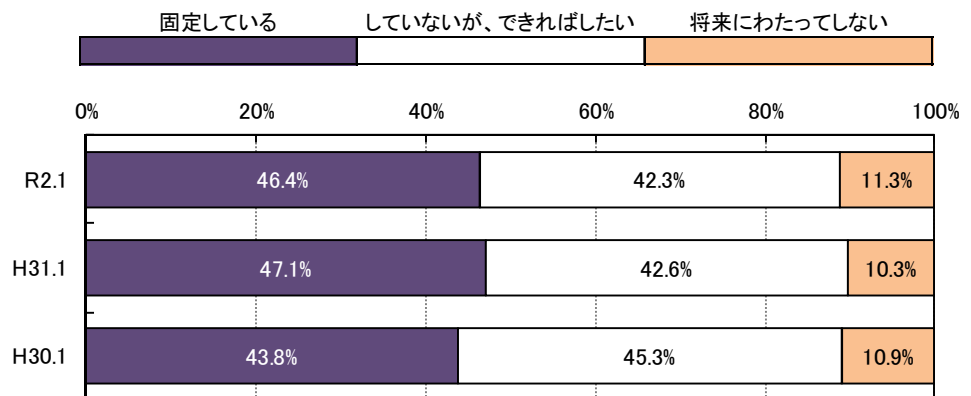
[Q12] (それぞれ1つ選択)

Q12 あなたが災害に備えてしていること、現時点ではしていないが、できればしたいと思っていることについて、あてはまるものを次の中からお選びください。

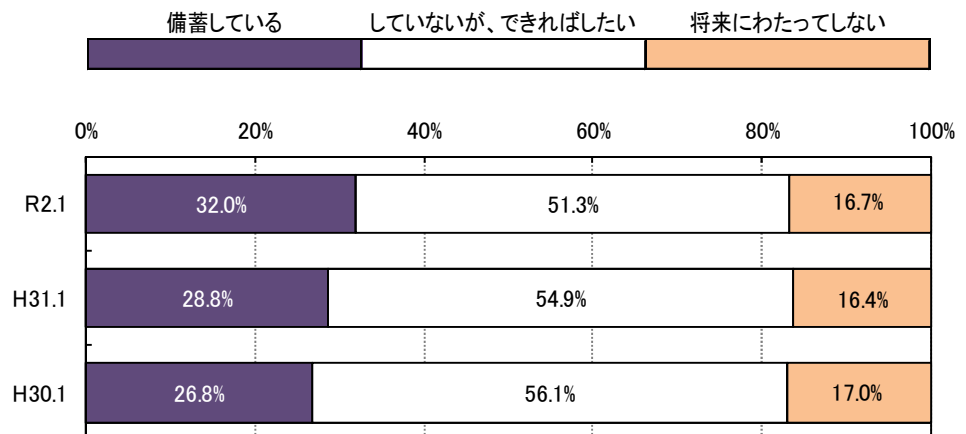
【飲料水や食料品の備蓄】



【家具等の固定】



【携帯トイレ又は凝固剤の備蓄】



飲料水や食料品の備蓄

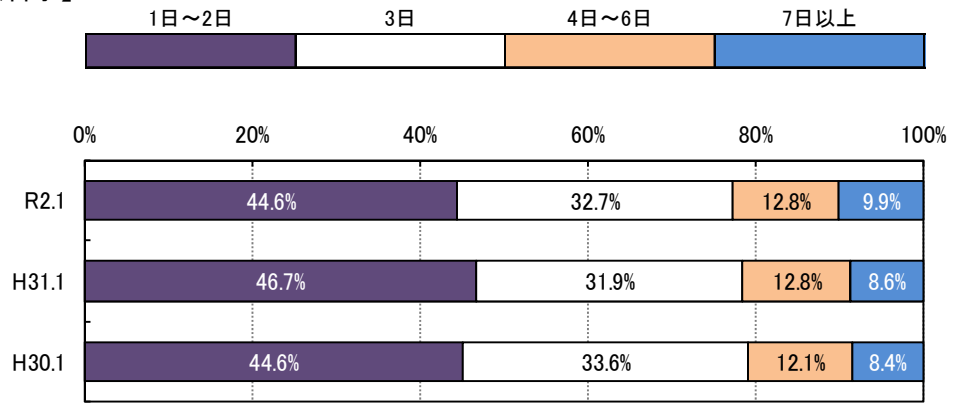
【Q13】（それぞれ1つ選択）

※【Q12】で「飲料水や食料品の備蓄をしている」と答えた人（1358名）に質問

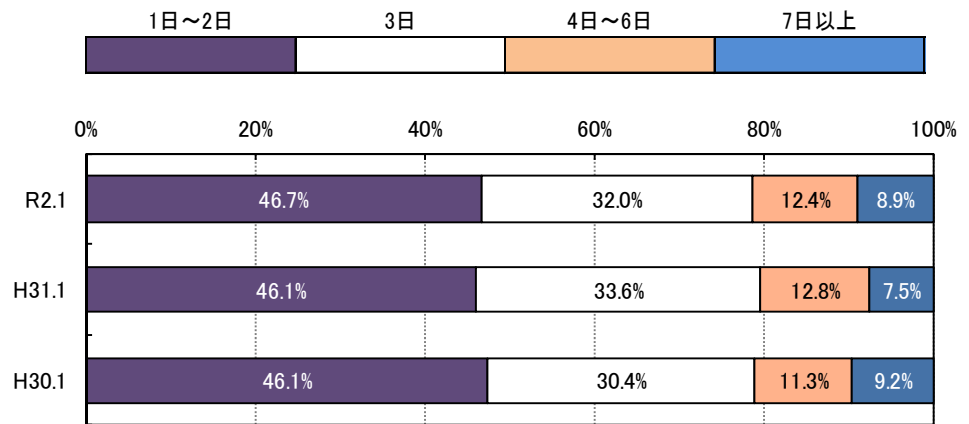
Q13 家庭での備蓄は何日分ですか。（【飲料水】と【食料品】それぞれ一つずつ）

※1日分は、飲料水では一人3リットル、食料品では3食分を目安に、それぞれ家族全員で何日分備蓄があるかお答えください。

【飲料水】



【食料品】

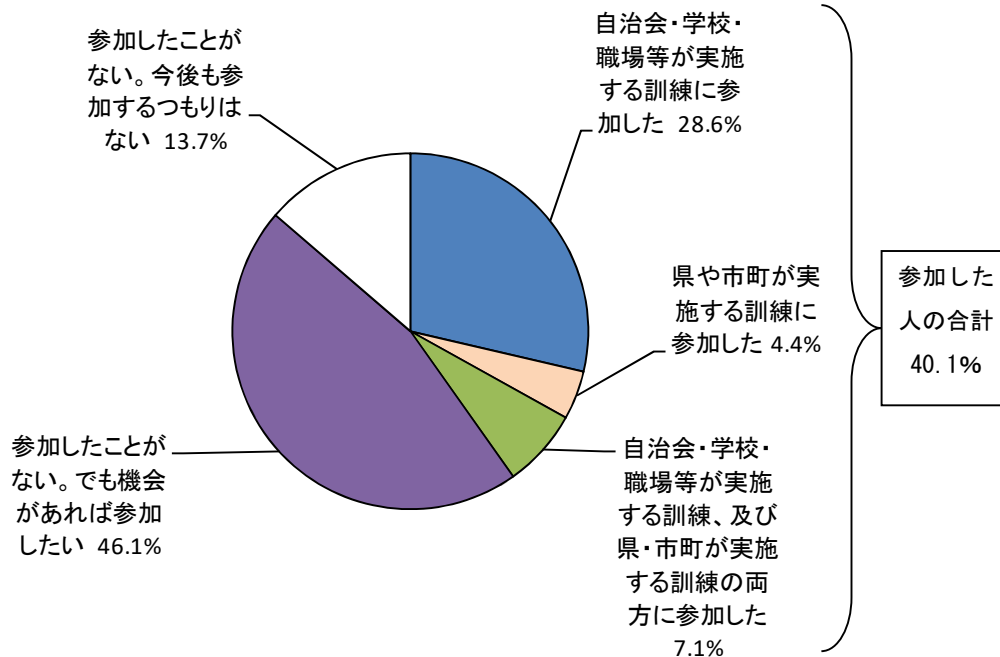


防災訓練への参加 (最近1年以内)

[Q14] (1つ選択)

Q14 あなたは、この1年の間に県や市町、自治会などが行った自然災害に対する防災訓練に参加したことがありますか。

※前回からは選択肢を変更



【参考】

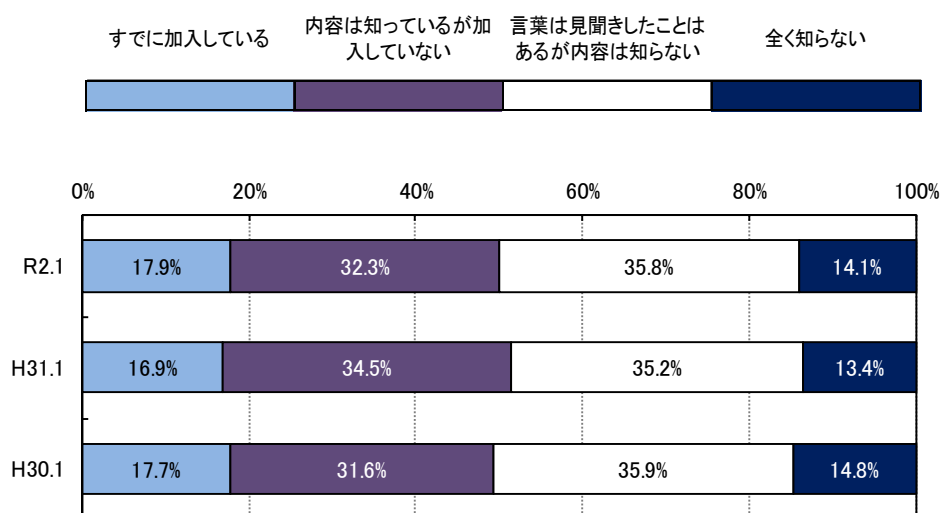
不参加の主な理由

選択肢	不参加の主な理由	人数
参加したことがない、でも機会があれば参加したい	仕事等で日程が合わなかった	254人
	実施されたことを知らなかった	241人
	訓練がなかった	114人
参加したことがない、今後も参加するつもりはない	必要性を感じない	43人
	仕事等で忙しい	42人
	高齢・障害等のため	27人

兵庫県住宅再建共済制度の認知度

[Q15] (1つ選択)

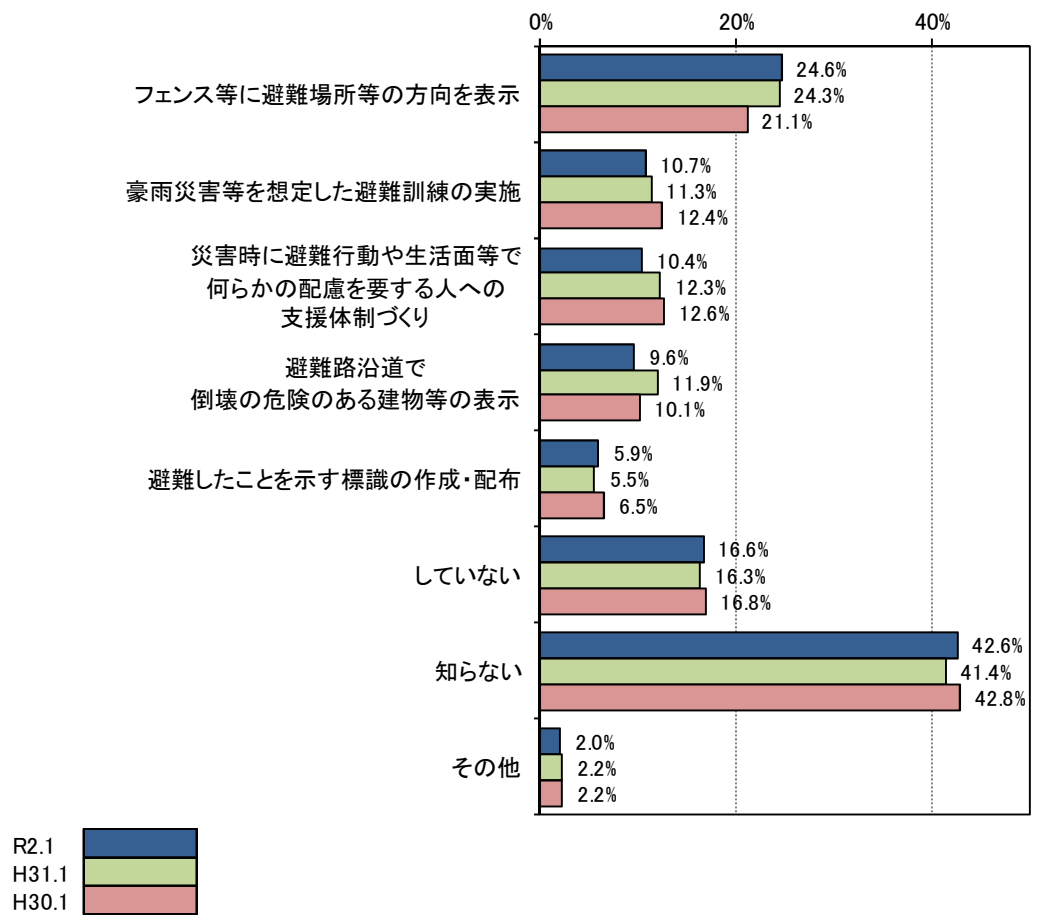
Q15 あなたは、兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）を知っていますか。



安全に避難するための地域での取り組み

[Q16] (いくつでも選択)

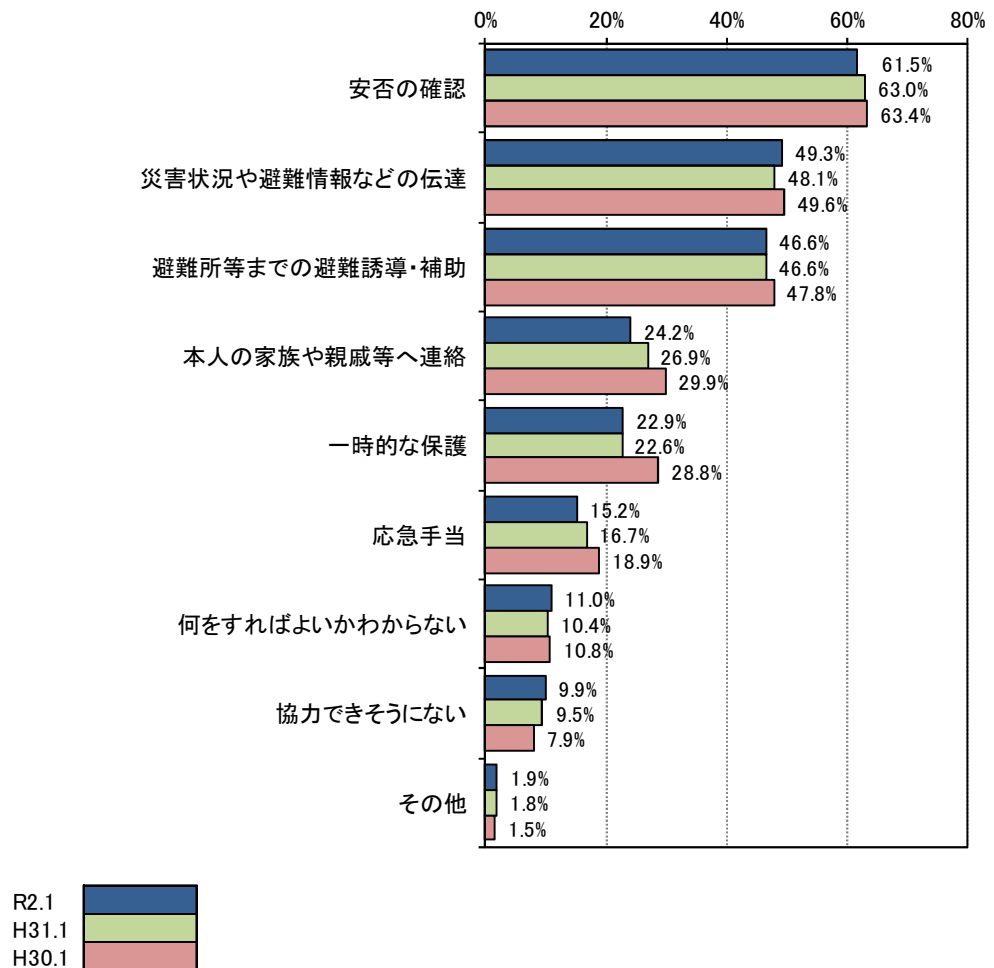
Q16 津波や豪雨災害において安全に避難するために、あなたの地域で取り組まれていることは何ですか。



要援護者の避難への協力

[Q17] (いくつでも選択)

Q17 地震や豪雨などの災害が発生したときに、あなたの近所に住んでいる高齢者、障害者、妊産婦、外国人など、自力で避難することが困難な人（あなたの家族を除く）に対して、あなたはどのような協力ができそうだと思いますか。

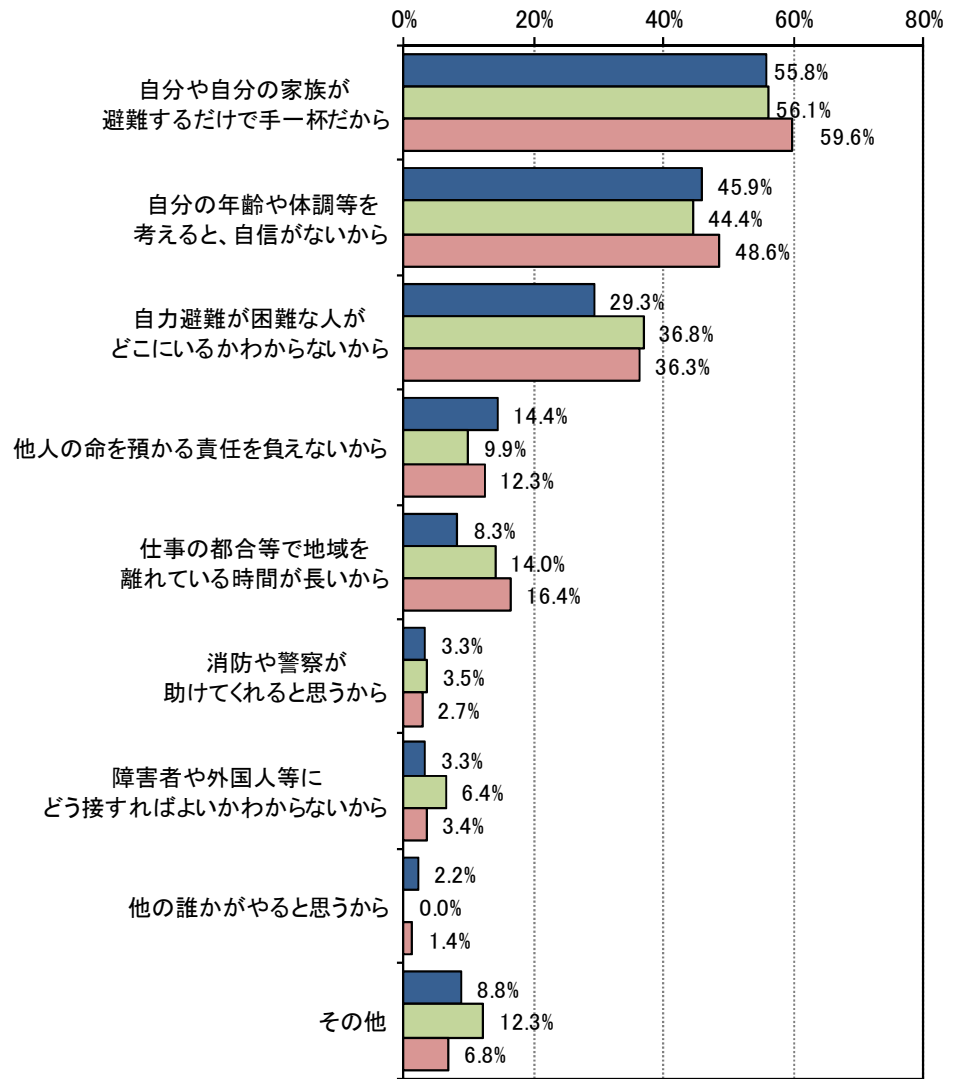


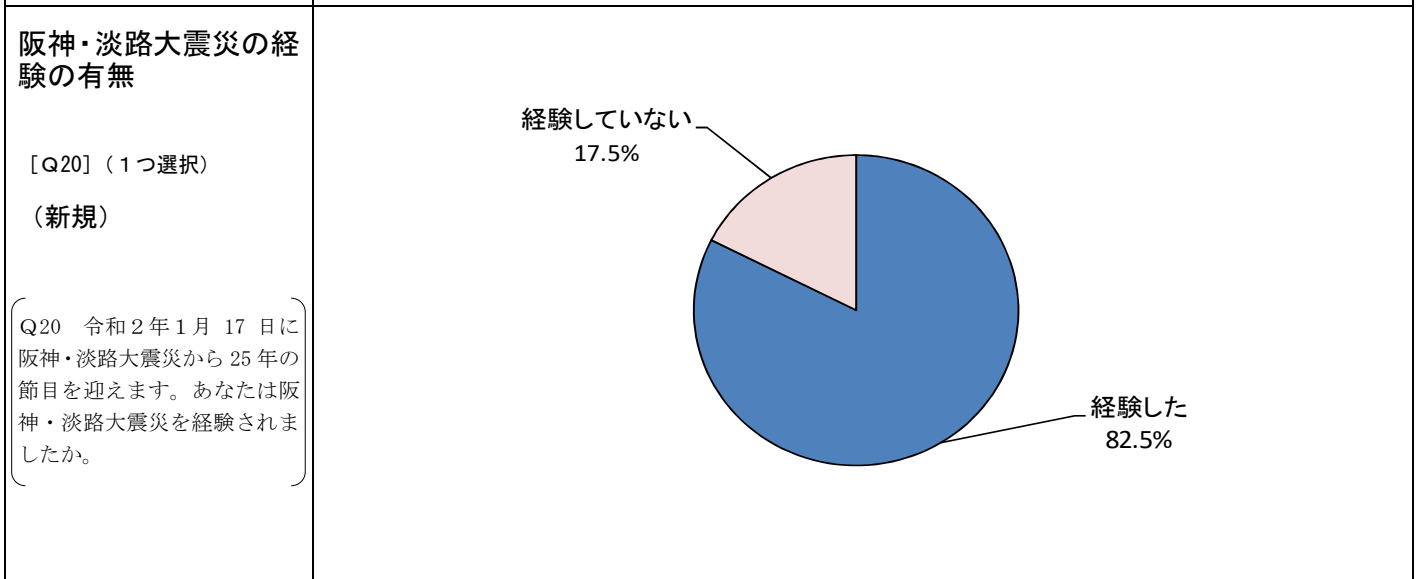
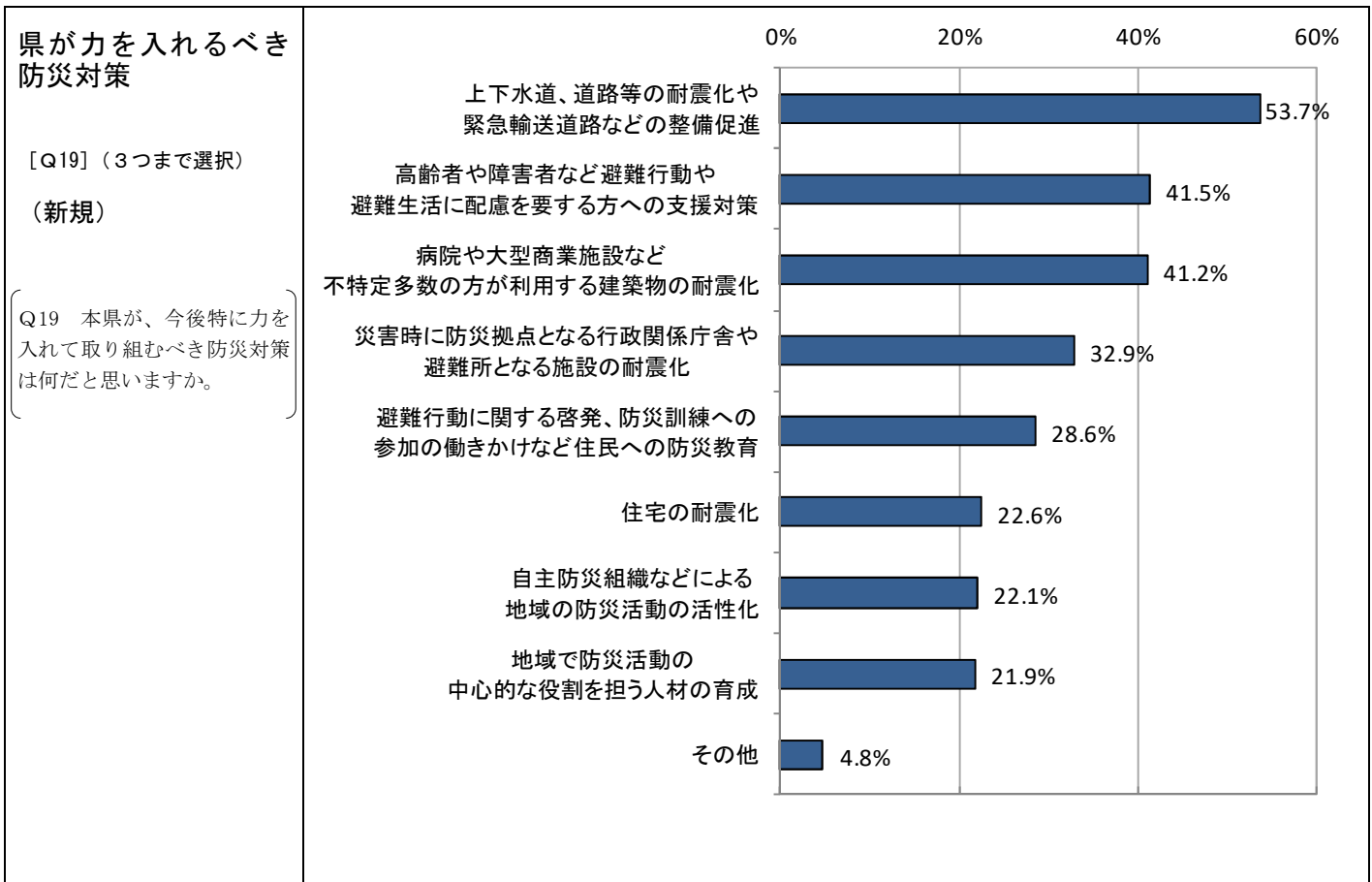
協力できそうにないと考える理由

[Q18] (いくつでも選択)

※ [Q17] で「協力できそうにない」と答えた人 (181名) に質問

Q18 あなたが協力できそうにないのはどのような理由からですか。





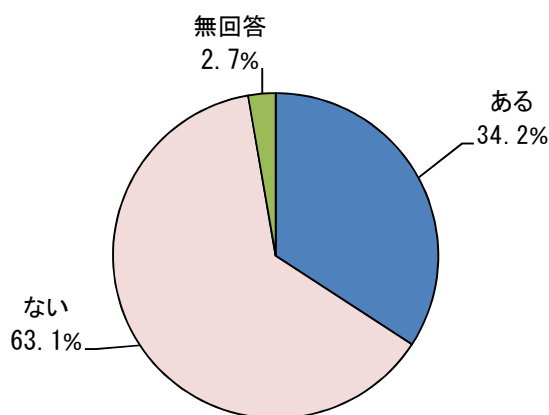
阪神・淡路大震災の経験等を後世につなぐ行動の有無（経験者）

【Q21】（1つ選択）

（新規）

※【Q20】で「経験した」と答えた人（1506名）に質問

Q21 その経験や教訓を後世につないでいくための行動をされたことがありますか。



【参考】

[あると回答した人（515人）の行動内容の主なもの]

- ・子や孫、家族等に話した（254人）
- ・友人・知人等に話をした（60人）
- ・震災の風化を防ぐイベントに参加・協力した（54人）
- ・インターネットやSNSで情報発信した（26人）

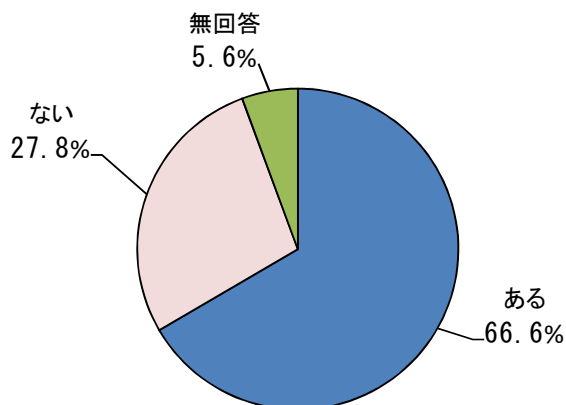
阪神・淡路大震災の経験等を学んだ機会の有無（未経験者）

【Q22】（1つ選択）

（新規）

※【Q20】で「経験していない」と答えた人（320名）に質問

Q22 これまで阪神・淡路大震災の経験や教訓を具体的に学ぶ機会がありましたか。



【参考】

[あると回答した人（213人）の学んだ機会の主なもの]

- ・人と防災未来センターなど震災関連施設を見学した（85人）
- ・家族や親戚から話を聞いた（46人）
- ・学校や職場などで学習した（40人）
- ・テレビ番組などで見た（25人）

【問い合わせ先】

企画県民部広聴課（TEL078-362-3021）

(参考) 令和元年度県民モニター調査実績

○令和元年度調査実績

回	調査テーマ	調査期間	回答率
第1回	ひょうごのすまいと花緑	5月20日～6月3日	81.1%
第2回	男女共同参画に関する意識調査	7月29日～8月13日	75.9%
第3回	芸術文化・スポーツの取り組み	11月1日～11月18日	76.3%
第4回	防災に対する意識と取り組み	1月7日～1月21日	75.4%

○対象者及び回答者属性別実績

区分		第1回	第2回	第3回	第4回	4回とも回答した人数	
総数	対象者(人)	2,223	2,259	2,385	2,423	1,350	
	回答者(人)	1,803	1,714	1,820	1,826		
	回答率	81.1%	75.9%	76.3%	75.4%		
性別	男性	対象者(人)	1,066	1,077	1,120	1,131	688
		回答者(人)	887	837	881	893	
		回答率	83.2%	77.7%	78.8%	79.0%	
	女性	対象者(人)	1,157	1,182	1,265	1,292	662
		回答者(人)	916	877	939	933	
		回答率	79.2%	74.2%	74.2%	72.2%	
年代別	10～20代	対象者(人)	92	96	112	116	32
		回答者(人)	58	56	66	65	
		回答率	63.0%	58.3%	58.9%	56.0%	
	30代	対象者(人)	237	241	274	282	104
		回答者(人)	169	150	175	174	
		回答率	71.3%	62.2%	63.9%	61.7%	
	40代	対象者(人)	432	442	471	483	230
		回答者(人)	324	311	337	337	
		回答率	75.0%	70.4%	71.5%	69.8%	
	50代	対象者(人)	466	472	495	501	292
		回答者(人)	378	363	382	394	
		回答率	81.1%	76.9%	77.2%	78.6%	
	60代	対象者(人)	468	477	494	499	333
		回答者(人)	425	408	419	415	
		回答率	90.8%	85.5%	84.8%	83.2%	
	70代以上	対象者(人)	528	531	539	542	359
		回答者(人)	449	426	441	441	
		回答率	85.0%	80.2%	81.8%	81.4%	

○過去3年の実績

年度	回	調査テーマ	回答率
H30	第1回	カムバックひょうごの取組	78.3%
	第2回	地域安全まちづくりの推進について	74.5%
	第3回	猫を取り巻く現状と課題について	74.4%
	第4回	防災に対する意識と取り組み	72.1%
H29	第1回	ひょうごの医療と介護	78.2%
	第2回	兵庫県の広報活動	74.0%
	第3回	受動喫煙対策について	75.4%
	第4回	防災に対する意識と取組	71.1%
H28	第1回	食の安全安心について	79.4%
	第2回	地球温暖化対策と総合治水の取組について	71.2%
	第3回	消費生活について	74.8%
	第4回	県民の防災意識及び取組状況	71.0%